

依頼者を理解するための情報収集

弁護士・社会福祉士

浦崎寛泰 Hiroyasu Urazaki

精神保健福祉士・社会福祉士

佐藤香奈子 Kanako Sato

I 事例編

とある若手弁護士（以下「弁」）が、独立型事務所を経営するベテランのソーシャルワーカー（以下「SW」）に、受任事件の悩みを相談しました。

❖ 1 書類が揃えられない依頼者

弁 自己破産の申立てに向けて準備を進めているケースで、依頼者が打ち合わせを何度もキャンセルしたり、連絡が取れなくなったりして、なかなか準備が進められません。

依頼者は一人暮らしの30代の女性なのですが、生活費の穴埋めのため借金を重ね、負債が払えなくなって法テラスの法律相談に来られ、私が債務整理を受任しました。債権調査の結果、自己破産の申立てをする方針が決まりました。

しかし、必要な書類がなかなか準備できず、このような状況が続けば辞任をするしかありません。

SW 打ち合わせをキャンセルした理由について、依頼者さんはどのようにおっしゃっていますか？

弁 「体調が優れない」「仕事が長引いた」「面談日に仕事があるのを忘れていた」「面談の日までに書類が揃えられなかった」——そんなことをいつもおっしゃっています。メールや電話

をしても、返信がなかなか返ってこないこともあります。

私が債務整理の受任をした後は、債権者からの取り立ても止まっているので、危機感が薄れて自己破産の準備に向けたやる気がなくなっているように思えます。体調が悪いというのも適当な言い訳ではないかと疑っています。

SW 「体調が優れない」とおっしゃっているとのことですが、具体的にお身体のどこがよくないのでしょうか？ その状態はいつから続いているのでしょうか？ お仕事をされているとのことですが、きちんと出勤できているのかも気になります。

弁 以前うつ状態で仕事に行けなかったことがあり、そのときは収入が減って債務の支払が滞ったと伺っています。いつからなのかは確認できていません。

SW 医療機関の受診はされているのでしょうか？ お薬は飲まれているのでしょうか？ 症状が悪化している可能性もありえますね。

弁 詳しいことはご自分からおっしゃらないので、こちらも症状や受診状況などは詳しくお聞きできていません。

SW 「書類が揃えられなかった」とおっしゃっているとのことなので、症状の影響があるかもしれません。仕事面でも体調が悪くて休みがちになっているのだとすれば、体調の良い日は無理にでも仕事を多めに入れたりして、自己破産のための書類集めが十分にできていないとい